

滋賀いのちの電話

2019年7月 8号

題字:大川匡子前理事長

『滋賀いのちの電話の日々の活動によせて』

栗東市市長 野村 昌弘



平成20年8月の開局から11年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

また、皆様におかれましては、日ごろから相談活動にご尽力されとともに、本市の自殺対策の推進に格別のご支援とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

我が国の自殺者数は平成10年以降3万人を超え、平成15（2003）年には34,427人とピークを迎える等、高い水準で推移してきました。平成18（2006）年の「自殺対策基本法」の施行以降、「個人の問題」とされた自殺は広く「社会の問題」として認識されるようになり、国を挙げて自殺対策が進められたことにより、平成23（2011）年以降は、減少傾向となっております。しかし、依然として自殺者数は毎年2万人を超える水準となっており、特に若年層における死因の第1位は自殺となっており、今般、厚生労働省がまとめた2017年の人口動態統計で、戦後初めて日本人の10歳から14歳の死因として自殺が1位になったことが発表され、非常事態はいまだに続いています。

本市では平成30年度に「誰も自殺に追い込まれることのない安心のまち」を目指して、「栗東市自殺対策計画」を策定し、各種自殺対策に関する施策を総合的・効果的に展開することとしています。

また、今年度には、若者の居場所づくり・地域の社会資源につなぐための体制の構築を推進してまいります。

計画の推進には、行政だけでなく、市民、地域、関係団体との連携が必要となりますので、皆様方におかれましては、今後とも、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、「滋賀いのちの電話」の皆様方の今後のますますのご活躍とご発展をご祈念申し上げます。

◇ 電話相談員募集（2019年度）



電話相談員が心の痛みや悩みを訴えられる方に向き合い、良き相談相手となって活動しています。また、研修などを通して相談員同士の交流もあり、人との出会いやふれあいを通して人生の意義や生き甲斐にも出会えます。相談員になっていただくための第12期養成講座の受講生を募集します。

詳しくは、事務局までお問い合わせください【電話・FAX：077-552-1281】

◇ 9月14日 公開講演会開催（厚生労働省補助事業）

場所：ピアザ淡海 ピアザホール

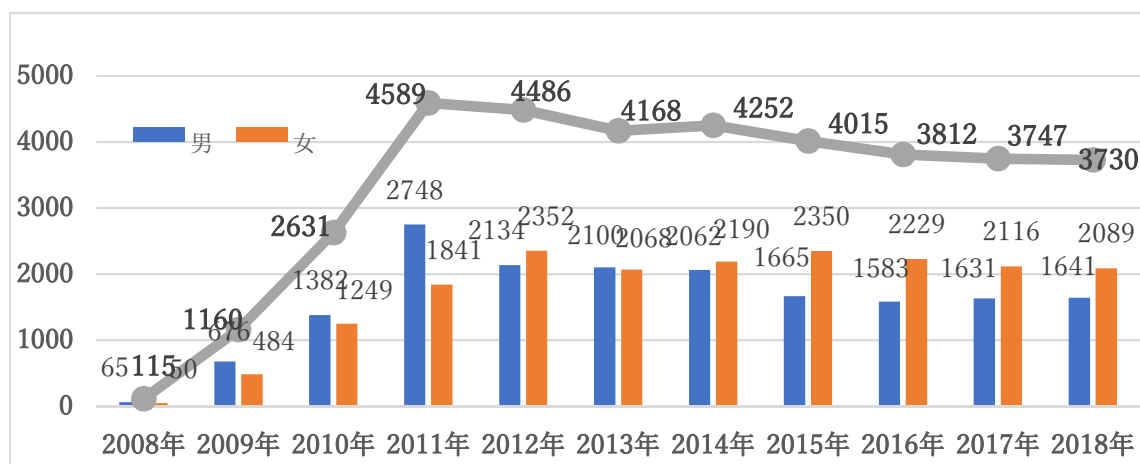
演者：茂 幸雄 氏（東尋坊の命の灯台守 「心に響く文集・編集局」理事長）

テーマ：『誰でも出来る「人命救助活動」～650人以上の命を救った体験～』

皆様の参加をお待ちしています。

～電話相談受信報告～ 期間：2018年1月から12月

2008年から2018年の総受信件数（通常受信+FD受信）



【受信曜日・時間の経緯】

- ☆ 2008年8月～2009年8月；毎日曜日、12時から20時までの8時間
- ☆ 2009年9月～2010年8月；毎金曜日・土曜日 18時から22時の各4時間、
毎日曜日 14時から22時の8時間
- ☆ 2010年9月～現在；毎金曜日・土曜日・日曜日、10時から22時の各12時間

【通常受信：金曜日から日曜日、10時から22時の12時間受信】

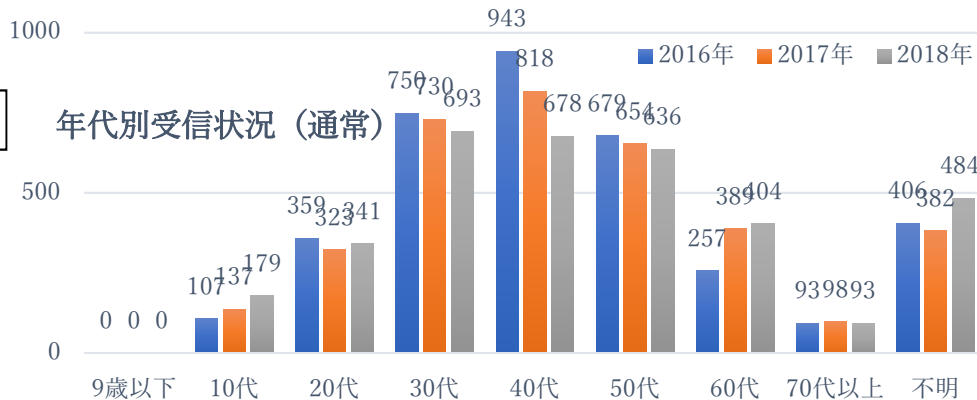
【フリーダイヤル（FD）受信：毎月10日、10時から22時の12時間受信】

総受信件数（通常+FD）では前年比（2017年：3747件）に対して、2018年は3730件とほぼ同傾向だった。開局以来、最も多かった2011年の4589件に比べれば、2017年同様の3730件だった。男女比でも2011年は男性：2748件、女性が多かったが、2012年以降は女性の受信件数が上回り傾向で、2018年も男性：1631件で女性：2089件だった。

通常受信（年代別）

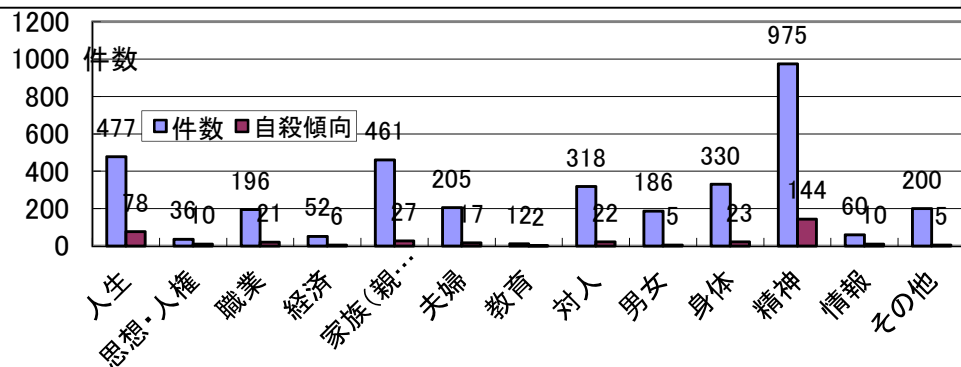


年代別受信状況（通常）



年代別で最も多かったのが30代693件、次ぎに40代の678件、50代の636件であった。この3年間で見ると、40代は減少傾向（943⇒678件）、10代（107⇒179件）と60代（257⇒404件）と増加傾向にあった。

通常受信（内容別）



相談内容で最も多かったのは「精神」（975件）の相談であった。その368件が“うつ”で悩む相談で、男性（93件）より女性（275件）からの相談が多かった。また自殺傾向では144件あり、その内“うつ”で悩む方は68件（男性32件、女性36件）であった。

『祝 11 期生認定式を迎えて』

認定特定非営利活動法人

滋賀いのちの電話 理事長 千原美重子



できる力量を磨いてられました。

11 期生の養成講座は 2017 年 10 月 4 日に開講式があり、2018 年 7 月まで継続し、その間 2017 年の 11 月には一泊 2 日の宿泊研修がございました。私も参加させていただき、とても有意義な 2 日間の研修だったことを思い出します。相談員、講師の方々と一緒に研修を体験させていただき、人のやさしさ、暖かさを体験させていただき、やはり宿泊研修の重要性を実感いたしました。11 期生の方々は、養成講座が終了いたしましても、個人 SV やグループ SV を重ねてこられまして、十二分に電話相談が担当

いのちの電話は、ご存知のように、1953 年、イギリスではじまり各国に普及してきました国際的規模のボランティア活動です。滋賀いのちの電話は、2008 年 8 月に開局いたしまして、昨年 10 周年を迎え、皆様のご尽力で 10 周年記念誌を発行していただきました。これもひとえに、ご支援していただきました皆様のおかげ様と心からお礼を申し上げます。

自殺者数は 3 万人から 2 万人台に減ったとはいえ、まだ 1 日に 70 人ぐらいの方が自殺で亡くなっておられるのです。若年者の自殺者数は減ってはおりません。中年期、高齢者と様々な生き辛さがあり、自殺に追い込まれることにつながり、今後予防活動が大きな課題です。

ボランティア活動はおみこし方式が大事だと言われます。何百キロもするようなおみこしでも多くの人々が入れ替わりながら担ぐことで目的地まで動かすことができます。決して一人で頑張るのではなく、私たち皆が少しずつ手を携えていくということが大切だと思います。そのためには、相談員自身のメンタルヘルスが大切なので、自分自身のケアをお互いに大切にしていきましょう。

最後に、11 期生の皆様のこれからのご活躍を祈念いたしまして、相談員としての認定のお祝いの言葉に代えさせていただきます。本日は本当にありがとうございました。

資金ボランティア大募集



電話相談活動を資金面から支えて頂くボランティアです。「いのちの電話」を継続して運営していくためには、相談員のための研修、広報や事務費などに多くの資金が必要です。今、資金が足りません。一人でも多くの方のご理解、ご支援をお願いします。

- 個人賛助会員:資金面から支えてくださる個人；1口 3千円（口数は自由、年間）
- 団体賛助会員:資金面から支えてくださる法人；1口 3千円（口数は自由、年間）
- 寄付:匿名希望などで資金を提供してくださる個人または法人。
金額を問いません。

◎振込先 認定NPO法人 滋賀いのちの電話

☆滋賀銀行 瀬田駅前支店 普通預金 番号:251748

☆郵便振替 00940-8-300160

【振込用紙のご請求などのお問い合わせは、事務局までお願いします。】



感謝報告

皆様の深いご理解と暖かいご支援に支えられ、研修費、事務費などの運営資金として役立たせていただきます。心から感謝申し上げます。(敬称略、順不同)

● 2018 年 4 月から 2019 年 3 月の期間、ご理解とご支援を頂いた方々

● 正会員 :17 件

大川匡子、千原美重子、三上房枝、奥村千寿子、新納京子、堀川哲夫、酒井豊彦、中山すみ子、大橋通伸、中井美幸、中村勝彦、山田亘宏、松岡陽子、塩田余侍美、近藤十郎、森田礼子、粟津診療所

● 個人賛助会員:14 件(賛助していただき有難うございます)

太田廣史、笹川真知子、菅原節子、大久保則雄、駒井千代、田中清行、田中登美子、清水鉄次、辻節子、大熊新一、松浦黎子、石堂美恵子、橋本淳也、村田ゆき子

● 団体賛助会員:1 件(賛助していただき有難うございます)

滋賀県歯科医師会

● 寄付・献金:34 件(ご厚意に本当に感謝いたします)

大川匡子、辻本哲士、三上房枝、奥田由子、奈倉道隆、鳥居静夫、奥村千寿子、千原美重子、堀川哲夫、谷川八重子、安藤麻紀、新納京子、遠藤昭雄、安岡 浩、太田宣子、平木久代、斎藤祥心、千代鶴直徳、鈴木綾子、平井忠夫、熊越裕子、澤地美貴子、縄継隆司、匿名希望 2 名、
守山こころのクリニック、メープル・クリニック、滋賀県介護福祉会、近畿精工(株)、日本キリスト教団近江八幡教会、日本キリスト教団大津教会、大津教会 愛光幼稚園保護者会

● 赤い羽根「つかいみちを選べる募金」滋賀県共同募金会 募金期間:1 月から3月 募金額: 395,000円、募金件数:50件

(内訳:個人:45件 315,000円、法人:5件 80,000円)

募金をしてくださった皆様、本当に有難うございます



● 公益財団法人 JR 西日本あんしん社会財団からの寄付助成

2018年度に60万円を受けました。

寄付事業(教育事業):相談員の養成講座及びスキルアップ研修、相談員の心のケア、
相談員増員のための募集活動に使わせていただきます。

ご厚意に本当に感謝いたします、有難うございます

今後とも変わらぬご理解、ご支援をお願い申し上げます。なお、記載漏れ、誤字などがございました場合お手数ですが、事務局までご一報くだされば幸いに存じます。

<編集後記>

5/1 より平成から令和となりました。令和には、「人々が美しく心寄せ合う中で文化は花咲く」という思いが込められています。私たちの活動もその一助となれば幸いです。(K記)

発行 認定NPO法人

滋賀いのちの電話 事務局

〒525-8799

草津郵便局私書箱第 10 号

電話・FAX 077-552-1281

<http://www.shiga-inotino-denwa.org/>